

科目・コース（ユニット）名：頭頸部・口腔
英語名称：Otolaryngology, Head and Neck, and Oral Cavity

【担当責任者】

コースコーディネーター：室野重之（耳鼻咽喉科学講座）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野：室野重之（耳鼻咽喉科学講座）

歯科口腔外科学分野：金子哲治（附属病院歯科口腔外科）

頭頸部・口腔病理分野：鈴木 理（会津医療センター病理診断科）

【連絡先】

耳鼻咽喉科学：内線 2425

附属病院歯科口腔外科：2471（研究室），内線 3470（外来）

会津医療センター：0242-75-2100（代）

【開講年次】 3 年，【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】講義・実習（病理分野）

【概要】

「頭頸部・口腔」は耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野、歯科口腔外科学分野、頭頸部・口腔病理分野から構成される。

（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野）

頭蓋内と視器、脊椎・脊髄を除く、鎖骨から上の領域の疾患の診断と治療を行う分野である。感覚（聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚）、運動（構音・発声・咀嚼・嚥下）に関わる器官としての耳、鼻、口腔・咽頭、喉頭に加えて唾液腺や頸部軟部組織の構造と機能について学ぶ。さらに、これらの器官・組織に生じる疾患につき、悪性腫瘍に対する頭頸部外科学的アプローチも含めて、原因、診断、治療法について学ぶ。

（歯科口腔外科学分野）

口腔を構成する、また口腔に関連する組織・器官の疾患の診断と治療を行う分野である。本講義では、医学部学生に必要な顎口腔・歯ならびに隣接組織の構造とそこに生じる疾患について、その原因、診断、治療法について学ぶ。

（頭頸部・口腔病理分野）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野、歯科口腔外科学分野で学ぶ疾患の病理組織についても講義と実習を通して学ぶ

【学習目標】

耳・鼻・咽頭・喉頭・口腔・頸部の構造と機能を説明できる。

耳・鼻・咽頭・喉頭・口腔・頸部（唾液腺を含む）がどのような構造であるか、臨床における診察所見と結びつけて説明することができる。また、聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚などの感覚、および、発声・呼吸・咀嚼・嚥下などの運動が、どのような構造によりどのように司られているのかを説明できる。さらに、これらの機能を評価するための検査についても説明できる。

耳・鼻・咽頭・喉頭・口腔・頸部の疾患の症候と病態を説明できる。

頭頸部・口腔の疾患には、炎症性疾患、腫瘍性疾患、機能性疾患などを含め、どのようなものがあり、それぞれどのような病態であるかを病理学的な面も含めて説明できる。

耳・鼻・咽頭・喉頭・口腔・頸部の疾患の診断と治療を説明できる。

頭頸部・口腔の炎症性疾患、腫瘍性疾患、機能性疾患などをどのように診断するか、特徴的な所見も含めて説明できる。また、それぞれに対しどのような手術治療、薬物治療、放射線治療、予防、リハビリテーションを行うのか説明できる。

【教科書】

（耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野）

あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 香取幸夫・日高浩史編 中山書店 税別 9,000 円

（歯科口腔外科分野）

随時プリントを配布する

口の中がわかる ビジュアル歯科口腔科学読本 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
監修 クインテッセンス出版社 税別 6,000 円

（頭頸部・口腔病理分野）

病理学の講義を参照のこと

【参考書】

（耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野）

新耳鼻咽喉科学 野村恭也監修 切替一郎原著 南山堂 税別 16,000 円

（歯科口腔外科分野）

標準口腔外科学第 4 版 野間弘康・瀬戸皖一監修 医学書院 税別 12,500 円

イラストでみる口腔外科手術（第 1～4 巻） 日本口腔外科学会編 クインテッセンス出版
各巻税別 22,000～25,000 円

（頭頸部・口腔病理分野）

病理学の講義を参照のこと

【成績評価方法】

成績評価は、①期末試験、②出席状況、③授業態度に基づいて行う。

期末試験は耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野（計 19 回）、歯科口腔外科学分野（計 6 回）、頭頸部・口腔病理分野（計 3 回）に分けて実施され、出席状況、授業態度も加味したうえで、それぞれに合格して「頭頸部・口腔」の合格となる。すなわち、各分野の成績を概ね授業回数に準じて処理して総合成績とし、これが 60 点（100 点満点）以上の者に単位を授与する。なお、医学部履修規定第 7 条「単位の授与は講義及び演習においては、原則として 3 分の 2 以上出席した者について行う（抜粋）」に従い、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野、歯科口腔外科学分野、頭頸部・口腔病理分野のいずれにおいても出席が 3 分の 2 に満

たない場合、また授業態度が著しく不良な場合には、原則的に当該の期末試験の受験を認めないので注意すること。出席の確認は原則的に出席管理システムに基づく。

【学習上の注意事項】

ヒトがヒトらしく生きるために重要な耳鼻咽喉・頭頸部・口腔について理解を深めよう。

【垂直的統合授業の実施内容】

3回を頭頸部・口腔の病理（基礎医学分野）として講義ならびに実習を実施する。

【水平的統合授業の実施内容】

耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、病理学の専門領域を網羅する授業である。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

耳鼻咽喉科総論では頭頸部癌とウイルスに関するトピックについても言及する。また、耳鼻咽喉科の最先端の臨床・研究についての特別講義も予定している。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/9/1	火	6	（講）耳鼻咽喉科総論	室野重之	耳鼻咽喉
2	2026/9/8	火	6	（講）口腔	室野重之	耳鼻咽喉
3	2026/9/15	火	6	（講）咽頭	室野重之	耳鼻咽喉
4	2026/10/5	月	6	（講）喉頭	室野重之	耳鼻咽喉
5	2026/10/13	火	6	（講）気管・食道	池田雅一	耳鼻咽喉
6	2026/10/20	火	6	（講）嚥下	池田雅一	耳鼻咽喉
7	2026/10/27	火	6	（講）音声・言語	川瀬友貴	耳鼻咽喉
8	2026/11/10	火	6	（講）唾液腺	室野重之	耳鼻咽喉
9	2026/11/17	火	6	（講）頭頸部外科	室野重之	耳鼻咽喉
10	2026/11/26	木	5	（講）耳科学総論	今泉光雅	耳鼻咽喉
11	2026/11/26	木	6	（講）外耳・中耳	今泉光雅	耳鼻咽喉
12	2026/11/30	月	6	（講）内耳 1	尾股千里	耳鼻咽喉
13	2026/12/1	火	6	（講）内耳 2	鈴木雪恵	耳鼻咽喉
14	2026/12/3	木	5	（講）鼻科学総論	橋本千織	耳鼻咽喉
15	2026/12/3	木	6	（講）鼻科学各論 1	橋本千織	耳鼻咽喉
16	2026/12/8	火	6	（講）鼻科学各論 2	尾股千里	耳鼻咽喉
17	2026/12/10	木	5	（講）耳鼻咽喉科救急	室野重之	耳鼻咽喉
18	2026/12/10	木	6	（講）耳鼻咽喉科のこれから	室野重之	耳鼻咽喉

19	2027/1/7	木	4	(講) 頭頸部・口腔病理講義	鈴木 理	病理
20	2027/1/7	木	5	(実) 頭頸部・口腔病理実習 1	鈴木 理	病理
21	2027/1/7	木	6	(実) 頭頸部・口腔病理実習 2	鈴木 理	病理
22	2027/1/14	木	6	(講) 特別講義?	未定	耳鼻咽喉
23	2027/1/18	月	1	(講) 歯科口腔外科総論	金子哲治	歯科口腔
24	2027/1/18	月	2	(講) 口腔腫瘍	菅野千敬	歯科口腔
25	2027/1/21	木	6	(講) 顎顔面外傷・顎関節	菅野千敬	歯科口腔
26	2027/1/25	月	1	(講) 先天疾患・口腔ケア	佐久間知子	歯科口腔
27	2027/1/25	月	2	(講) 顎変形症	遠藤 学	歯科口腔
28	2027/1/28	木	6	(講) 歯性炎症・インプラント	柳沼貞ノ進	歯科口腔

* 変更となる場合があります。

【担当教員】

教員氏名	職	所属
耳鼻咽喉科・頭頸部外科分野		
室野重之	教授	耳鼻咽喉科学講座
今泉光雅	准教授	耳鼻咽喉科学講座
池田雅一	講師	耳鼻咽喉科学講座
川瀬友貴	助手	耳鼻咽喉科学講座
垣野内 景	助教	耳鼻咽喉科学講座
尾股千里	助手	耳鼻咽喉科学講座
橋本千織	助手	耳鼻咽喉科学講座
鈴木雪恵	非常勤講師	福島県総合療育センター耳鼻咽喉科
歯科口腔外科分野		
金子哲治	部長	附属病院歯科口腔外科
菅野千敬	副部長	附属病院歯科口腔外科
柳沼貞ノ進	助手	附属病院歯科口腔外科
佐久間知子	病院助手	附属病院歯科口腔外科
遠藤 学	主任部長	大原綜合病院歯科口腔外科
頭頸部・口腔病理分野		
鈴木 理	教授	会津医療センター病理診断科

* 学外講師は変更となる場合があります。

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

担当教員全員がその分野における実務経験を有している。